

■ 工事内容

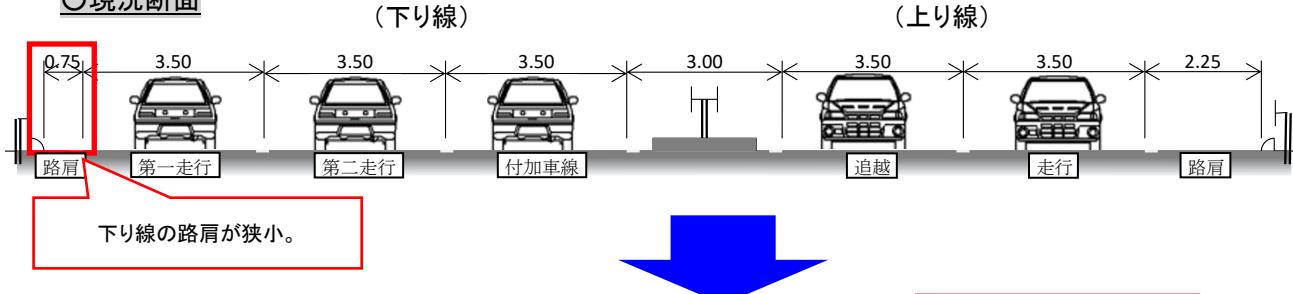
<安全性向上のための中央分離帯および区画線改良工事>

中央道 多治見 IC～小牧東 IC(下り線)に位置する上り坂約 3.7km の区間で試行運用していた右側付加車線方式を恒久運用化するにあたり、さらなる安全性向上のための区画線改良工事をおこないます。

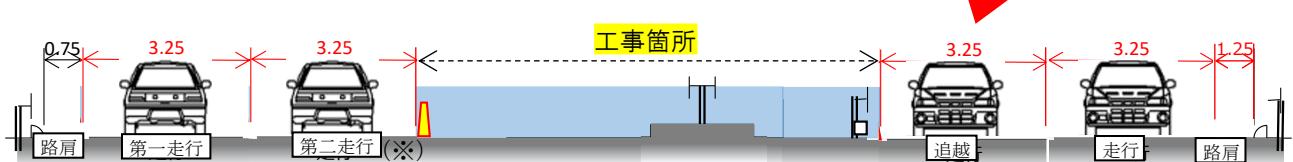
※試行運用中は、下り線の路肩幅を狭めて車線運用をおこなっていましたが、恒久運用化するにあたり、緊急停止車両などが安全に路肩に停車できるように、中央分離帯および区画線の改良をおこなうことで、路肩幅を拡幅します。

工事期間中は、車線および上り線の左路肩の幅が狭くなります。上り線では非常時は右側の退避スペースをご利用ください。退避スペースの位置は工事進捗に応じて変わります。下り線は右側付加車線の車線規制をおこないますので速度低下にご注意ください。また、時間帯により、さらに 1 車線を規制します。

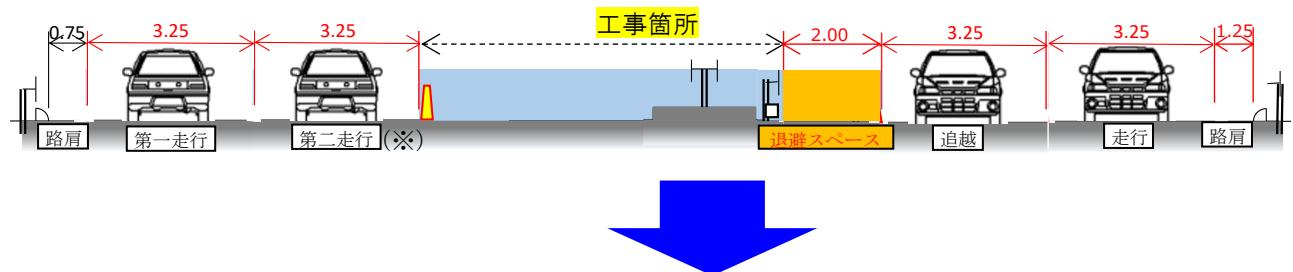
○現況断面



○工事中断面 (※)下り線は時間帯により、さらに 1 車線を規制します。



○工事中断面(退避スペース箇所)



○改良後断面

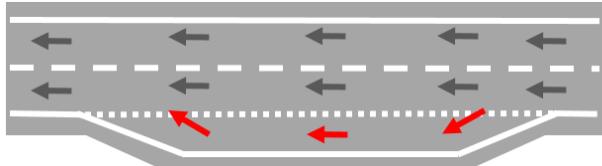
コンクリート防護柵へ改良



■右側付加車線方式とは

従来の登坂車線方式は、速度の遅い車が走行車線の左側に設けた登坂車線へ移ることで後続車へ車線をゆずり、坂を登り切ったところで再度走行車線に復帰する構造でしたが、比較的速度調整がしやすい車が第二走行車線の右側に設けた付加追越し車線を利用して自ら追い抜く方式とすることで、低速車の待避や合流をなくし、より安全に車線変更いただけるようにしたものです。

◆登坂車線方式



◆右側付加車線方式

